

## 塘研究室現地調査報告 08

8月11日に裏磐梯にて現地調査を実施しました。塘研の大学院生、難波元生君の外来生物（ウチダザリガニとフロリダマミズヨコエビ）の食性解析用試料採集が目的で、塘が同行しました。天気が良かったので猛暑を心配しましたが、思ったほど気温が上がらず、水辺での活動ということもあり、快適な調査となりました。

長瀬川蛇平橋下ではウチダザリガニの採集を行いました。採集したウチダザリガニはその場で冷凍することにより、食性解析用資料としました。小さな個体も多かったですが、かなりの大型個体も採集できました。その他、リター、バイオフィームなど餌資源となり得るもの、植食性種（ヒラタカゲロウ類）、デトリタス食性種（モンカゲロウ類）、捕食性種（ヤゴ類）なども採集しました。

ニチレイ株式会社の社有地内の池（1の池）ではフロリダマミズヨコエビの採集を行いました。先月の桧原湖畔探勝路沿いの池でもそうでしたが、フロリダマミズヨコエビは個体数が非常に少なく（池内で増えていないのであれば良いことですが）、採集するのが大変でした。逆にチスイビルの個体数が非常に多く、胴長に大量に吸い付くので、それを剥がすのに苦労しました。チスイビルは捕食性であることが明らかなので、食性解析用のサンプルとしていくつか持ち帰りました。

最後に曲沢沼付近の水路（曾原地区）でウチダザリガニの採集を行いました。この水路にはウチダザリガニ以外の底生動物がユスリカ類、センブリ類、ヌカエビくらいしかいません。また、コカナダモが大量に繁茂していることもこの水路の特徴です。ウチダザリガニは大型個体こそいませんでしたが、小型～中型個体は大量に採集されました。ここでも食性解析用試料として次々と冷凍しました。



長瀬川蛇平橋下でリター等を採取



胴長に吸い付くチスイビル（ニチレイ1の池）を採集



曲沢沼付近の水路でコカナダモやリター等を採取



水路で大量に採集されたウチダザリガニ